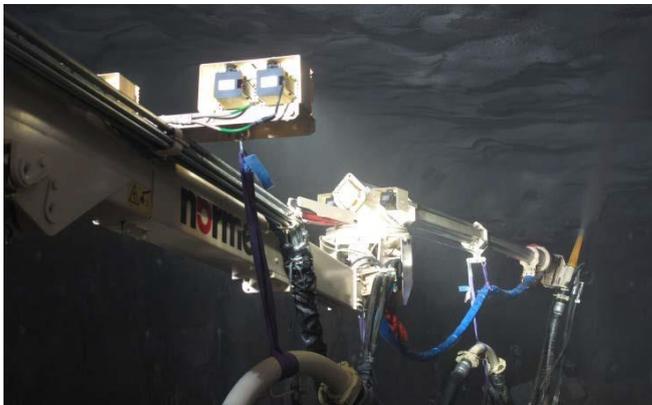


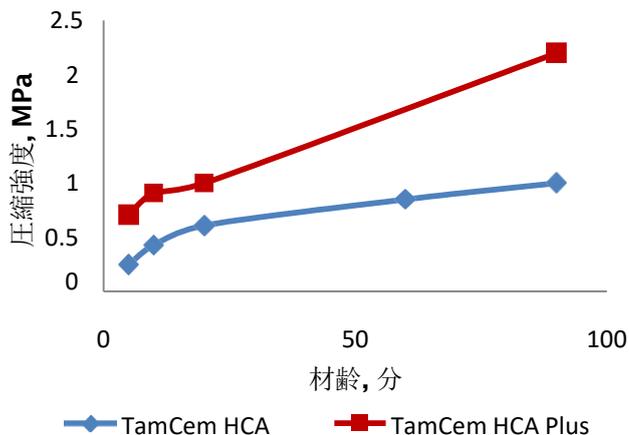
## 製品概要



TamCem HCA Plusは吹付けコンクリートにおけるコンシステンシー制御剤です。ヨーロッパ規格EN934-5、またAS1478.1規格に準拠しています。独自の強度強化技術を取り入れたTamCem HCA Plusは、TamCem 100AFのようなアルカリフリー急結剤を使用した吹付けコンクリートの初期強度発現をサポートする働きをします。

## 主な特長

- 独自の反応促進剤を配合しており、吹付けコンクリートの初期強度発現をサポートします。



上のグラフは吹付けコンクリートの初期材齢における圧縮強度を示しています。TamCem HCA Plusを使用した場合の方が優れた強度発現を示しています。

(Cem II/A-VセメントにTamShot 100AF 急結剤を使用)

Whilst any information and/or specification contained herein is to the best of our knowledge, true and accurate, we always recommend that a trial be carried out to confirm suitability of the product. Please note regional climatic conditions may cause a variation in the performance of the product. No warranty is given or implied in connection with any recommendations or suggestions made by us or our representatives, agents or distributors. The information in this data sheet is effective from the date shown and supersedes all previous data. Please check with your local Normet office to confirm that this is current issue. TamCem HCA Plus V1AU-17

## 用途

TamCem HCA Plusは通常使用されるあらゆるタイプのポルトランドセメントと反応し、セメントベースのグラウト材やコンクリートの水和反応制御剤として作用します。一般的には、鉱山や建設産業における吹付けコンクリート用途に使用されます。

## 技術仕様

TamCem HCA Plus	
色	無色
密度	1.49 ± 0.02 g/cm <sup>3</sup>
形態	液体 (透明)
塩化物含有量	< 0.1 %
pH	13.0 ± 1.0
※20° Cにおける値	

全ての技術データは試験室条件下での試験結果に基づいています。

## ご使用に関する指針

TamCem HCA Plusに関するより詳細な情報は、所属地域のノルメット製品担当者にご確認ください。

TamCem HCA Plus はバッチャープラントもしくはミキサー車の生コンクリートに適量 (セメント重量の約0.3~2%) を直接添加してご使用ください。TamCem HCA Plus はバッチングプロセスの最後に添加されることを前提としています。

あらゆる場合において、最適な添加量を確認するための使用前試験の実施を推奨いたします。試験はセメント、フライアッシュ、マイクロシリカ、砂、砂利、骨材等を含めたご使用前提の生コンクリートを用いて実施してください。

試験についてはEN / ASTM / DIN / EFNARC 規格に従い最適な配合設計をご検討ください。また試験は必ず所属地域のノルメット担当者を交えて実施してください。

---

## 包装

---

TamCemHCAはIBCコンテナ、ドラム、もしくはバルク容器にてご提供いたします。包装容器サイズは地域の規定や要求により異なります。より詳細な情報は地域のノルメット担当者へお問合せください。

---

## 保管

---

TamCem HCA Plusの適正保管温度は室温相当(最少5℃/最大38度)です。また直射日光は避け、乾燥した条件を保ってください。未開封かつこれらの条件が保たれている場合、約6ヶ月の保管が可能です。

長期にわたり保管をされる場合はご使用前に攪拌を行ってください。

---

## 安全と健康

---

TamCem HCA Plus は必ずマニュアルに従いご使用ください。ご使用前に安全要綱シート(SDS)をお読みいただくことを推奨いたします。また安全を確保するため、保護具の着用を強く推奨いたします。安全要綱シートはノルメット担当者よりご入手いただけます。